

観光業の生産性向上に資するデザイン人材育成プログラム

「観光×デザイン」リカレントテキスト

3-01 地域課題解決力育成

中国・台湾の色文化

目次

1 章 中国思想と色彩・意匠----- 1

2 章 台湾の看板 ----- 12

3 章 台湾のパッケージ ----- 13

4 章 中国の看板 ----- 14

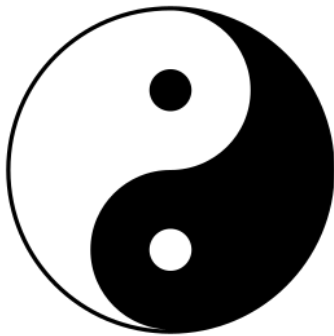
5 章 中国のパッケージ ----- 15

1章 中国思想と色彩・意匠

いんよう 陰陽思想

原初の混沌（カオス）状態の中から光に満ちた明るい澄んだ気（陽の気）が上昇して天となり、重く濁った暗黒の気（陰の気）が下降して地となった。この二つの気の働きによって万物の事象の理解と予測をするのが陰陽思想。万物の事象は、受動的な性質・能動的な性質に二元化され相反するが、一方がなければもう一方も存在し得ない存在である。宇宙の万物は、陰と陽の二気によって消長盛衰し、陰と陽の二気が調和して初めて自然の秩序が保たれるとした。また、陰陽二元論は善悪二元論とは異なり、陽を善（好ましく）、陰を悪（好ましくない）としていない。

<特徴>



提携律 陰陽が互いにバランスをとるよう作用する。

陰陽のバランスが均衡する状態に近づこうとする

拮抗律 陰陽は常に量的に変化しながらバランスをとる。

陰陽の量は常に変化しているため、常に均衡がとれている状態にはならない。

循環率 陰陽はそれぞれ極まると逆転する。

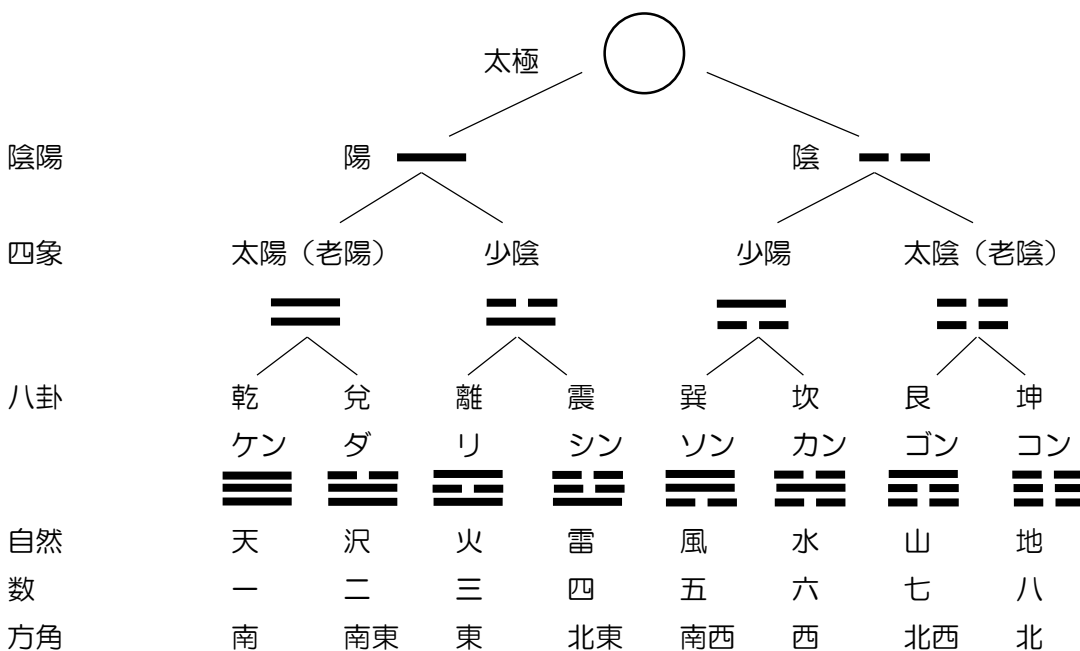
陰が極まると陽に転じる。陽が極まると陰に転じる。

交錯率 陰陽はそれぞれの中に様々な段階の陰陽がある。

陰中の陰。陰中の陽。陽中の陰。陽中の陽。

<太極>

紀元前 17 世紀頃～紀元前 1046 年の中国の殷（商）の時代から蓄積された卜辞の集大成である易経によると、「太極は、万物の根源である。太極から、陰陽の二元が生じる。陰陽から、四象が生じる。四象から、八卦が生じる。八卦は、吉凶を定め、吉凶は偉大な事業を成し遂げる。」としている。



※数は伏羲八卦、方角は先天八卦方位による。

<陰陽の性質>

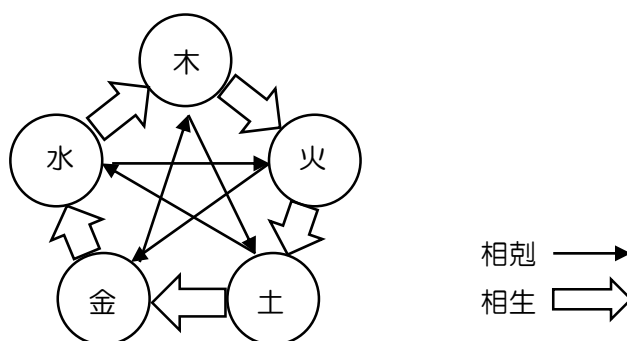
	陰	陽
傾向	収縮	膨張
方向	下降・水平	上昇・垂直
向き	左・後	右・前
光度	暗い	明るい
密度	緻密	希薄
感触	柔軟	堅硬
湿度	湿潤	感想
性別	女性	男性
呼吸	吸気	呼気
態度	防衛的	攻撃的
生命	死	生
文化	精神的	物質的
表裏	裏	表
天体	月（太陰）	日（太陽）
天気	雨	晴
天地	地	天
温度	冷	熱
数	偶数	奇数

五行思想

万物は、火・水・木・金・土の五種類の元素からなり、互いに影響を与えあい、その生滅盛衰によって天地万物が変化し循環するという思想。五行思想は陰陽思想の後にできたので、陰陽思想の影響を受けている。

木	樹木が成長・育成する様子を表している。春の象徴。
火	火のような灼熱の性質を表している。夏の象徴。
土	植物の芽が地中から発芽する様子から、万物を育成する性質を表す。季節の変わり目の象徴。
金	金属のように冷徹・堅固・確実な性質を表す。秋の象徴。
水	泉から湧き出してくる水の様子から、命の泉として胎内と霊性を兼ね備える性質を表す。冬の象徴。

<特徴>



そうしょう
相生：木は燃えて火を生じる。火は灰を残し土になる。土は金属を生じる。金属は水を生じる。水は木を育てる。
そうこく
相剋：木は土を痩せさせる。土は水をせき止める。水は火を消す。火は金属を溶かす。金属斧は木を倒す。

万物は、相生・相剋の2面があって初めて変化し循環する。五行の循環によって世の中が永続する。としている。

＜五行の配当＞

儒家の「礼記」では、赤を南、黒を北、青を東、白を西、黄を中央に配置している。陰陽五行説でも中央の色は黄であり、青は万物の生成、赤は繁茂、白は凋落、黒は死没を意味している。

五行	相剋順	相生順	五色	五方	五時	五獣	五常	五官	五金
木	1	1	青	東	春	青龍	仁	目	青金（錫鉛）
火	4	2	赤	南	夏	朱雀	礼	舌	赤金（銅）
土	2	3	黄	中央	土用	黄龍（麒麟）	信	口	黄金（金）
金	5	4	白	西	秋	白虎	義	鼻	白金（銀）
水	3	5	黒	北	冬	玄武	智	耳	黒金（鉄）

※青は緑、黒は紫で表すことが多い。

＜王朝と五行思想＞

紀元前 4～3 世紀ころの思想家鄒衍^{すうえん}は五行の相剋を王朝の興亡に当てはめた五徳説を展開した。伝説の帝王黄帝が土徳、夏王朝は木徳、殷王朝は金徳、周王朝は火徳、秦王朝是水徳とした。（木は土を痩せさせる。金は木を倒す。火は金を溶かす。水は火を消す。）そのため、秦王朝は儀礼用衣服や皇帝の旗の色に黒を採用した。

秦を倒した漢は、夏を金徳、殷を水徳、周を木徳、圧政を行った秦を正当な王朝とせず、漢王朝を「火徳」とし、「赤」を王朝のシンボルカラーとした。その後、前漢を滅ぼした新に対し漢（赤）の復活を求めた運動が「赤眉の乱」、後漢の打倒を図った運動（火は灰をつくり土になる。よって、火の後を継ぐのは土。土は黄色。）が「黄巾の乱」が起こった。

後漢以降は、五行の相生を王朝の継承を解釈するようになり、隋の火徳は唐の土徳を生み出したとした。こうして唐のシンボルカラーは「黄」になった。後の宋は火徳、元は土徳であり、元の打倒を目指し宋の復興を目指した「紅巾の乱」が起こった。元を追放した明は金徳を名乗った。明の次の清是水徳。国名を水の偏を持つ清とし、黒をシンボルカラーにした。清朝打倒を目指した孫文は中国同盟会の旗を青に定めて戦った。そして、中国共産党のシンボルカラーは赤。このように現代の中国でも五色の伝統は受け継がれている。

陰陽五行説

中国の春秋戦国時代ころ古代から存在した陰陽思想と新しい五行思想が結合し、さまざまな事象の説明をしたもの。これによると、『太極から、陰陽の二元が生じる。陰の中で特に冷たい部分が北に移動して「水」となった。次いで、陽の中で特に暑い部分が南に移動して「火」となった。さらに残った陽気は東に移動し風となって散って「木」を生じた。残った陰気が西に移動して「金」を生じた。そして、四方の余った気が中央に集まって「土」が生じた。』とする。暦や占術に使われたほか、日本では陰陽道へ発展した。

基本は、木（もく）火（か）土（ど）金（ごん）水（すい）の五行に、兄（え）弟（と）の陰陽を対応させると、{きのえ、きのと、ひのえ、ひのと、つちのえ、つちのと、かのえ、かのと、みずのえ、みずのと} になる。

これを、生命消長の循環を表す十干（甲乙丙丁戊己庚辛壬癸）に当てはめる。

十干	音読み	訓読み	意味	陰陽	五行	五方	状態
甲	コウ	きのえ	木の兄	陽	木	東	甲羅のような硬い殻に覆われた種子
乙	オツ	きのと	木の弟	陰			種から芽が地上に出た様子
丙	ハイ	ひのえ	火の兄	陽	火	南	芽が地上に出て葉が広がった状態
丁	テイ	ひのと	火の弟	陰			植物が成長して安定した状態
戊	ボ	つちのえ	土の兄	陽	土	中	植物の成長が絶頂期にある状態
己	キ	つちのと	土の弟	陰			植物が成長し形が整然としている状態
庚	コウ	かのえ	金の兄	陽	金	西	植物の成長が止まり新しい形に変化する状態
辛	シン	かのと	金の弟	陰			植物が枯れて種が生まれようとする状態
壬	ジン	みずのえ	水の兄	陽	水	北	植物の内部に種子が生まれた状態
癸	キ	みずのと	水の弟	陰			植物の内部の種子が大きくなった状態

十干は 10 日間を「旬」として日にちを表す記述法に使われた。十干を 3 回繰り返すと 1 か月（30 日）になり、上旬・中旬・下旬に分けた。さらに十二支を組み合わせると日付を記述した。

十二支	訓読み	陰陽	五行	方角	季節	状態
子	ね	陽	水	北	冬（十一月）	新しい生命が種の中に生まれる状態
丑	うし	陰	土	北東微北	冬（十二月）	芽が種子の中にあり伸びることができない状態
寅	とら	陽	木	北東微南	春（一月）	春が来て草木が生じる状態
卯	う	陰	木	東	春（二月）	草木が茂り地面を覆った状態
辰	たつ	陽	土	南東微北	春（三月）	草木が成長し形が整った状態
巳	み	陰	火	南東微南	夏（四月）	草木の成長が絶頂に達した状態
午	うま	陽	火	南	夏（五月）	草木の成長が衰えの兆しがみせ始めた状態
未	ひつじ	陰	土	南西微南	夏（六月）	果実が生じようとしている状態
申	さる	陽	金	南西微北	秋（七月）	果実が成熟していく状態
酉	とり	陰	金	西	秋（八月）	果実が成熟の限界に達した状態
戌	いぬ	陽	土	北西微南	秋（九月）	草木が枯れる状態
亥	い	陰	水	北西微北	冬（十月）	草木の生命力が種に閉じ込められていく状態

十干の陽と十二支の陽、十干の陰と十二支の陰を組み合わせて、年や日付を表した。甲子（甲子園）、甲申（甲申事変）、戊辰（戊辰戦争）など。



紅

魔よけ、吉祥、生命力の色として信仰され、中国人が最も好む色。

現代になると、中国共産党軍を紅軍と呼んだことなどから、革命的・共産主義的な意味合いが強くなった。しかし、台湾では、革命のイメージはなく、高貴・愛らしさ・利益を表している。建築物では、紫禁城の伽藍や孔子廟などの道教寺院の伽藍の色として使われている。

紅が靈的な色を表わすようになった理由



「紅蓋頭（ホンガイトウ）」（花嫁が頭にかぶる赤い布）は中国の婚礼で非常によく見かける。特に昔の嫁入りの際には、花嫁は花嫁衣裳を身にまとい、花轎に乗るだけでなく、頭から赤い大きな布をかぶり、新婚夫婦の部屋に入るまで顔を覆い隠さなければならなかった。この風習に関する言い伝えはたくさんある。「喜神」の紂王から花嫁を守るためであるとか、紂王が叔父の文重の悪妻に懲罰を与えるためであるとか、桃花女が嫁入りの時に周公から身を隠すためであるとか、

赤い頭巾を最初に使ったのは諸葛孔明の妻・黄月英だという言い伝えもある。

一般的には、この風習によって吉を招き凶を避け、花嫁を無事に嫁入りさせるためであると考えられている。

紅がつく単語

紅事 おめでたいこと・結婚式

紅榜 合格者掲示板

紅包 ご祝儀

紅人 人気スター

紅顔 美女



黄

「黄」は^{こうし}嚙矢や^{ひや}火矢の形を表しており、光り輝く意味から王の色になった。そして、陰陽五行説では万物の中心の色。唐代から清代まで黄は最も高い序列に位置付けられる皇帝だけが使える色になった。紫禁城の屋根瓦の色で赤と黄は中国独特の配色。

ところが、近代中国では「わいせつ」を意味するので注意が必要。

黄がつく単語

黄色文学 ポルノ文学

黄色電影 ポルノ映画

黄了 ダメになった、つぶれた、別れた。

黄道吉日 大安吉日



青

草々の芽生えの象徴で、勢いがあり育ち盛りの時期の意味を持つ。青龍の出現は英明の王が誕生するしるしであったため、青い龍は王の服や宮殿の装飾に使われた。古代では濃い青は黒になるので青は黒を表すことがある。また、青と緑も区別しないので、緑も青と呼んでいた。色の名前 blue として使うときは藍を使うことが多い。

青がつく単語

青衣 黒い服
 青春 草木が芽生える若々しい季節
 藍領 肉体労働者（ブルーカラー）
 藍牙 ブルートゥース



黒

死後の世界の色。全ての色を包含する色として、水墨画の基調色となっている。「闇の」「悪い」という意味がある。都会では次第に黒のファッションが取り入れられている。

黒がつく単語

黒市 闇市
 黒社会 やくざ
 黒名单 ブラックリスト
 黒心 腹黒い



白

喪服の色。白虎は処刑神。古代、戦争は秋に行われることが多く、また処刑も秋に多かったため、白が死亡を表すようになった。親族の喪服や式場の装飾は白色を基調としており、中国語でお葬式のことを「白事」と呼ぶ。「無駄」「陰湿」「極悪」という意味もある。反政府軍は「白軍」、軽視することを「白眼」としてもつかわれる。

白事 葬式
 白話 無駄話
 白忙 骨折り損をする



金

おめでたく豪華なイメージ。赤との組み合わせでパッケージなどによく使われる。

金貴 とても貴重

金点子 特に優れたアイデア

金口玉言 ありがたいお言葉



緑

緑は健康、エコ、平和、調和などの意味がある。古代の緑色は縁起が良くない色だった。漢代の身分の低い人は強制的に緑の頭巾をかぶらせ、唐代では犯罪者に緑の帽子や頭巾をかぶらせた。現在では、緑の帽子は「妻に浮気される情けない夫」という意味で使われる。

緑色食品 健康的で汚染の少ない安全な食品

金点子 特に優れたアイデア

金口玉言 ありがたいお言葉



桃

楽園の色で邪気を払う色。恋愛の色。

バラの花色：長寿の象徴。

中国の吉祥如意匠

清代（しんだい）（1616～1912）に皇帝やその臣下が着た龍袍（りゅうほう）には、たくさんの吉祥文様があらわされています。



宮廷という公の場で着る龍袍は、着る人の身分によって色が異なります。階級がはっきりと分けられた社会では、着ている人の位が一目でわかるように色分けされました。

皇帝は明黄（黄色）

皇太子は杏黄（琥珀色）

皇子は金黄（オレンジ色）

皇后は明黄

第2夫人は金黄

などと区別されました。

龍の文様は、万能の神のごとく神格化されて、めでたいきざしとなる最高の動物として人びとに敬愛されました。そして、その威厳に満ちた姿は世界を治める天子、すなわち皇帝のシンボルとして衣服を飾ったのです。

天を駆ける龍のまわりの雲は形がきのこの一種である靈芝（れいし）に似ていることから靈芝雲と呼ばれ、不老を象徴する瑞雲（ずいうん）です。雲の間には卍（まんじ）や桃をくわえた蝙蝠（こうもり）が飛んでいます。

蝙蝠の「蝠」が「福」と同じ発音であることから、幸福のシンボルになりました。「卍」は「万」と同じ発音なので、蝙蝠が卍をくわえると「万福」。桃は「寿」のシンボルであり、桃をくわえた蝙蝠は「寿福」を意味します。



龍袍 金黃地綴織＜京都国立博物館蔵＞

<四霊>

応龍（おうりゅう）	富貴の象徴。龍の出現は吉祥の前兆。麒麟と鳳凰は応龍を祖とする。
麒麟（きりん）	泰平の世に現れる神聖な生き物。麒麟は諸獣を生んだとされる。
鳳凰（ほうおう）	天子の出現を待ってこの世に現れる生き物。鳳凰は諸鳥を生んだとされる。
霊亀（れいき）	未来の吉凶を予知する。甲羅の上に蓬莱山と呼ぶ山を背負い、蓬莱山には仙人が住んでいる。

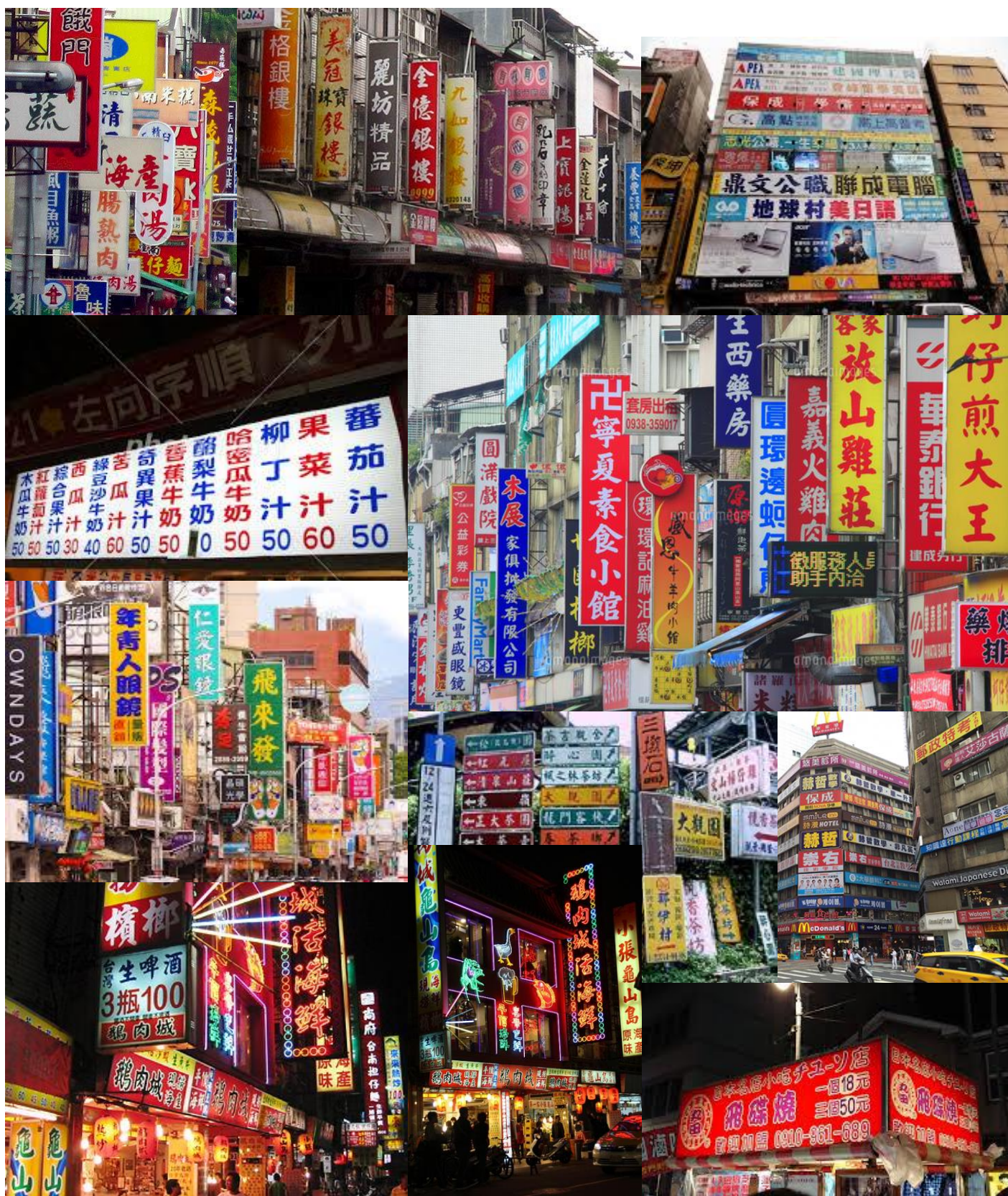
<動物>

馬（うま）	馬が到着すればすぐ成功するという意味。「馬の上に元宝」ですぐにお金が入る、「馬の上に猿」ですぐに昇進する、「馬の上に蠅」ですぐに勝利するという意味になる。
猿（さる）	昇進・昇級を意味する
羊（ひつじ）	吉祥を意味する
鼠（ねずみ）	鼠はお金を運んでくるとされるので、金運上昇を意味する。
豚（ぶた）	すべてのことがスムーズに進むことを意味する
蝙蝠（こうもり）	幸福の象徴。五匹の蝙蝠ですべての福がその家に集まることを意味する。
亀（かめ）	健康長寿の象徴。
蛙（かえる）	蛙はお金をくわえてくるとされる。
蛇（へび）	神聖なる蛇は財産を引き寄せるとされ、金運の象徴。
蜘蛛（くも）	幸運をつかむとされる。
蠅（はえ）	勝利の意味を持つ。
魚（さかな）	豊かな意味を持つ。

<植物他>

花（はな）	美しさと豊かさの象徴
葉（は）	仕事や事業の成功を表す
如意（にょい）	願いが叶う意味を持つ
桃（もも）	健康長寿の象徴
竹（たけ）	一節一節向上するという意味を持つ
柿（かき）	柿を二つ並べてすべてが思い通りになるという意味を表す
唐辛子（とうがらし）	厄除け・魔除け
瓢箪（ひょうたん）	幸福や金運を表す
扇（おうぎ）	人を喜ばせる意味を持ちます
急須（きゅうす）	幸福の意味
元宝（げんぼう）	金運の象徴

2章 台湾の看板



3章 台湾のパッケージ



4章 中国の看板



5章 中国のパッケージ

